

事業における社会的責任について、  
ファナック株式会社特別顧問、橋本至弘様に伺いました。



## ともに世界のものづくりを支える 社会的責任を担う

ファナック株式会社  
主任研究員兼ロボマシン研究統括  
特別顧問 橋本 至弘様

### ファナック株式会社

工業製品の部品を加工する「マザーマシン」である工作機械の心臓部となるCNCと、筋肉にあたるサーボモータで圧倒的世界シェアを誇る。山梨県忍野村、山中湖にほど近い富士のすそ野にある広大な敷地の多くは、「樹木は1本たりとも伐採しない」という同社の方針のもと自然のままに残され、野鳥や小動物、山野草の宝庫となっている。

### ファナック様の社会的責任についてお聞かせください

当社は、基本商品としてCNC（コンピュータ数値制御装置）とサーボモータを、日本国内はもとより世界の工作機械メーカー様に提供しています。工作機械はいわゆる「マザーマシン」といわれるもので、365日24時間、あらゆる機械部品を安定した品質で大量に生産します。万が一停止してしまうと、機械のユーザー様には多大な損害が発生しますし、部品を待っているあらゆる産業のみなさまにも

深刻な影響を与えてしまいます。このため、当社ではお客様の機械を止めることのないよう、商品の品質と信頼性を第一に考えたものづくりに取り組んできました。工作機械は故障したからといって直ちに代替することは困難ですので、止まらないようにすることは当社にとって最大の社会的責任であると考えています。このためには、商品そのものの品質が高く、信頼性が高いことが大事なことであり、生産体

制、生産方法をしっかりとしたものにしていかなければなりません。さらに、生産体制が良いというためには、商品の設計・開発段階が最も重要です。当社では、このようにおおもとに遡って、常に安定的な品質の維持と長期にわたって過酷な使用条件に耐える高い信頼性を追求するよう心掛けております。

### THKに対するご意見をお聞かせください

THKさんのことは、創業者の寺町様が当時の当社社長の稲葉（稲葉清右衛門名誉会長）を頻りに訪ねていらっしゃる頃から存じ上げています。当社のCNCが工作機械の頭脳の部分を担うのに対し、THKさんの製品は電子指令を機械の摺動部へマイクロ単位の精密さで反映させる要素部品です。すなわち、お互いに工作機械メーカー様にご愛顧いただいている関係であり、社会的責任は重いと思います。THKさんの製品が機械を止めるようなことがあっても、当社の場合と同様、お客様の被害は甚大なものとなるからです。THKさんのLMガイドのシェアは、

国内で70%、海外でも50%と伺っていますが、企業の責任はシェアに比例し重くなるのではないのでしょうか。当社では海外への販売が全商品の6割を超え、国内のお客様にお納めしたCNCや、サーボモータが機械に組み込まれて輸出される場合を含めると、さらに多くの商品が海外で使用されています。海外で機械が停止した場合を想定したメンテナンスサービス体制を含め、「お客様には決してご迷惑をお掛けしない」ことが、両社にとって最大の社会的責任だと思えます。

当社では、自社の基本技術であるCNCおよびサーボ技術を応用し、電動射出成

型機の「ロボショット」、高速高精度ワイヤカット放電加工機の「ロボカット」、高速万能CNCドリルの「ロボドリル」などの機械を手掛けており、その摺動部にTHKさんの「LMガイド」や「ボールねじ」を多数使用しています。これは、THKさんが直動システムのパイオニア企業であると同時に、品質についても、いざと言うときの対応力についても、社会的責任を最優先に自覚していらっしゃる事への高い信頼によるものです。今後もTHKさんには、たくさんのお客様の期待に応えていただきたいと応援しております。